

神奈川県知事

松 沢 成 文 様

平成 19 年 10 月 23 日

「本気で臨海部の未来を考える会」

「川崎南校を活かそう会」

代表者 高橋徹夫

事務局 渡辺 治

川崎市川崎区鋼管通り 4- 14- 18

Tel 044-344-6520 Fax 044-344-3936

旧神奈川県立川崎南高校解体費入札延期に関する緊急のお願い

日ごろ、市民生活の向上と市政の発展のためにご尽力いただき、まことにありがとうございます。

さて、旧県立川崎南高校の件ですが、現在神奈川県には、解体費の執行を差し止めるよう監査請求を出すと共に、横浜地方裁判所に「校舎解体差し止め仮処分申立書」を提出しており、本日 10 月 23 日に裁判所にて面接がありました。

そうした中、川崎南高校の解体費の入札が 10 月 24,25 日、そして開札および業者決めが 26 日と迫って来ました。

今、地域で大勢による反対運動が生じており、このまま強行に解体を開始すると非常に危険な自体を招く恐れが高まってきています。

また、この川崎高校の解体に関して川崎市会議員の全員に「公開質問」を出しており、大体が回答されて返ってきています。

回答の中で、「壊すべきだ」とするのはひとりもおらず、有効再利用すべき、少なくとも解体前に地域住民と話し合うべきだとする回答のみでした。

10 月 23 日現在で署名も 14102 人となり、まだまだ増え続けています。

同時に賛同書も増えており、添付書類のような状況です。

このように、市議会議員の皆様そして、多くの地域住民が解体せずに再利用もしくは、とにかく解体を延ばして、地域の意見を聞くべきだとしています。

このような状況で、解体理由もあいまいのまま強行に解体に踏み切るとは、県民市民や議会に対する行政の信用を失いかねません。

なにとぞ、松沢知事のご一存で、10 月 24,25 日の入札及び 26 日の開札と業者決定の過程を中止し、一旦延期されるよう、要請されるように切にお願い申し上げます。

以上